

11月例会 伊予富士 (1,756m)

実施日 2018(平成30年)11月12日(月)

天候 曇りのち小雨から大雨(午後から風雨のともなう大雨へ)

参加者 CL近藤 嗣 S L三村 永谷 墨江

桑野洋 小林陽 船越 近藤浩 井上 神山 西崎綾 佐藤 森田 藤川豊 岡野 飯国 梶原 高仁 合計18名

行程 岡山駅西口(6:30)⇒早島IC・いよ西条IC⇒R194寒風山トンネル・道の駅木の香⇒登山口(10:00)

開会行事・登山口発(10:15)→桑瀬峠(11:20)→頂上・記念撮影(12:55-13:10)→木陰で立屋食(13:45-14:00)

→桑瀬峠(14:20)→登山口(15:20)着替等・登山口発(15:40)⇒往路を引き返す・岡山駅西口着(18:35)解散

概要 天候が登山途中から小雨となり、頂上では風雨が強く写真撮影がやっと。下山は風雨が更に強くなった。木陰で立休憩と遅い昼食。下りは休憩らしい休憩を取らずに、ピストンで全行程を早足で走破するはめになった。稜線では「ササ」をかき分けていく登山路であった。



伊予富士が目前



ソメイヨシノの開花

リーダーとして、雨を楽観的に考えたことが大失策。風の影響も考慮すべきであった。今回は着脱の場所が見つけにくかった。風雨の中を4時間50分で踏破完走。約18,000歩、約9Km、標高差600m。頂上から瓶ヶ森方面への下山を・・・との声もあったが、リーダー判断で断念した。

反省材料として、雨になる前か・小雨の時に、事前に雨具に着替えるべきであった。風雨が強くなると岩陰や木陰の無い稜線では、濡れた衣服の着替えや雨具の着用が難しく、適当な場所までかなりの距離を風雨に晒されながら歩くはめとなった。更に、狭い道の両側に低いササが茂り、ズボンや靴の中までズブ濡れとなり、低体温症になりそうだった。久しぶりの雨登山ゆえ、参加者が緊張して慎重に登山したことが、脱落者が出なかった理由と思える。今回の収穫は、往路途中で雄大な景色と紅葉が見えたこと。寒風山トンネルを抜けてから、道の駅「木の香」迄の道中で、素晴らしい紅葉と、季節外れの桜の開花が見られ、幸運であった。当日の出発50分前に1名から病気で発熱ありの連絡あり、キャンセル料金どうする?・・・人数が少ないので、1人あたりの負担金が400円アップした。小型バス(19人乗り)しか通れないルートゆえ、今回は18名で催行。(申し込み21名あり) 反省の多い雨の登山であった。(近藤 嗣 記)

